

## 技術・家庭科（家庭分野） 学習指導案

### 研究テーマ

持続可能な社会をめざし、生活を豊かに創造する力を育む学習指導のあり方

### 研究の視点

- ① 家庭分野における、持続可能な社会のとらえ方。
- ② 持続可能な社会を目指す、家庭分野 3 年間の指導計画の作成。
- ③ 問題解決的な学習の取り組み(問題解決的な学習の場면을工夫する)
  - ・生活を豊かにするための工夫について
  - ・持続可能な社会をめざす

# 技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日 時 平成 30 年 11 月 20 日

展 開 学 級 2 年

展 開 場 所 被 服 室

## 1 題材名 住生活と自立 (6) 安全な住まい方 (内容アー (イ))

## 2 題材について

### 〔題材観〕

住まいは、私たちの生活を危険から守り、心身の健康と安らぎを与えてくれる重要な場でなければならない。しかし、家庭内における死亡事故の件数は、交通事故をはるかに上回っている現状がある。また、東日本大震災の被災により、住居に対する安心・安全への要求はますます高まっている。本題材では、住居の快適性や安全性に関する知識を学ぶ過程で、自らの住生活と照らし合わせて、その中で課題を見い出し、よりよい住生活を送るために、工夫し改善することができるようになることをねらいとしている。このことは、現在及び将来の住生活において、課題をもって実践しようとする態度を養うことにつながり、意義があると考えられる。

### 〔生徒観〕

素直で前向きに学習に参加しようとする生徒が多い。作業学習にも意欲的に取り組み、作品の完成を目指して積極的に作業を進めている。自分の考えをきちんとまとめ記述することができる生徒は多く見られるが、自分の考えを話すという点については、やや消極的な面がある。

復興途上でありながらも、危機感や自然災害に対して備えようとする意識は薄れ、忘れがちとなっている。発生当時小学校入学前であった、生徒に『3月11日(東日本大震災)のできごとを今でも覚えていますか?』と質問したところ、「はい」と答えたものは62%おり、「校庭に出たら泣いている人がたくさんいた。」「私の両親は仕事なので、迎えにくるのがおそく、とても心配だったことが印象に残っています。」など、一部の生徒が自らの体験を鮮明に記憶していることがわかった。しかし、『震災後、地震などの自然災害に備えて、あなたが気をつけていることはありますか?』という問いに対しては、「はい」と答えたものが58%で、大震災の経験から学び、安全な暮らしを自ら築こうとする姿勢は十分でないのが現状である。地震に限らず、近年発生している台風による強風や竜巻など、自然災害は予測が困難で、突然自分の身に降りかかるかもしれないという恐怖心や不安感を抱く一方、確たる根拠なく自分だけはひどい目に遭わないのではと、油断しがちであることも否めないようである。

指導に当たっては、生徒が学習した知識を活用できるように問題解決的な学習を軸に住生活の基礎的・基本的な知識を習得し、常に自らの住生活を意識させながら修正を加えていく学習活動を展開する。その過程では、話し合い活動を取り入れ、安全で快適な住まい方について自分の考えを発表したり、他者の話を聞いたりすることで、よりよい住生活を工夫できるようにしていく。

## 〔指導観〕

指導に当たっては、住生活の自立を図る観点から、実践へとつなげられるような深い学びとなるよう自分の生活を振り返りながら、課題を見付け必要な情報を収集・整理・決定することを意識させていきたい。室内の写真などから危険な箇所を見付けて住空間の図に書き込み、それを基に必要な備えとして住空間の整え方を検討する活動を行い、問題解決的な学習の工夫としていく。

## 3 題材の目標

住居の機能と住まい方に関する学習を通して、自分や家族の住空間に関心をもち、安全に配慮した室内環境の整え方を知るとともに、安全で快適な住まい方を考え、具体的に工夫できるようにする。住空間を安全な状態に整える必要があることが分かり、家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方について理解できるようにする。

## 4 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を 工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。		安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

## 5 指導計画（4時間扱い）

時間	学習内容	評価規準・評価方法
1	安全で快適な住まいについて考えよう ・TVアニメの1戸建て住宅をモデル、安全で快適な住まいについて考える。	安全に快適な住まいについて関心をもち、課題を見つけることができる。【関】
2	安全な住まい方について、家庭内の事故とその原因を知ろう ・家庭内での安全について考える。イラストから危険な箇所を見つけ、その原因を考える。(高齢者・幼児など) ・自分の家を安全で快適な住まい方について、自宅で調査をする。	・住生活について、自分の家を快適に住まうための危険な箇所を見つけその原因がわかる【知】 ・話し合いに参加し、自分の意見を述べている。【関】
3 (本時)	災害への備えを考えよう ・前時の調査をもとに、各家庭での災害への備えを知る。様々な状況から危険な箇所に気付き、必要な備えを考える。	・自宅で行った『我が家の災害の備え』を基に、安全な住まいについて関心をもつことができる。【知】 ・写真から危険な箇所に気付き、必要な備えを考えることができる。【工】 ・自然災害に備えるための住空間の整え方を理解できる。【知】

4	我が家を安全で快適な住まいにする工夫を考えよう ・実践計画書課題の発表とこれからの住まいについて考える。	・班員の調査を聞き、自分の計画をさらに深めることができる。【知】【関】 ・安全で快適な室内環境(家庭内事故の防止、自然災害への備え)がわかる。【知】
---	---	---

## 6 本時の展開 (3/4)

(1) 小題材 「災害への備え」

(2) 本時の目標

自然災害への備えなどの視点を通して、安全で住まい方に関する具体的な方法を見つけることができる。

(3) 本時の評価規準

関心・意欲・態度	工夫し創造する能力	生活の技能	知識・理解
自宅で行った『我が家の災害の備え』を基に、安全な住まいについて関心をもつことができる。	日常の写真から危険箇所を見つけ、必要な備えの工夫することができる。		自然災害に備えるための住空間の整え方を理解できる。

(4) 本時の展開

学習過程	時配	学習内容と●生徒の活動	教師の指導と支援	資料■評価(方法)
課題をつかむ	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅で調べた「我が家の災害の備え」を班で発表する。</li> <li>・具体的な備えや対策をしている家庭について紹介する。</li> <li>●非常用バッグ ●水</li> <li>●L字金具 ●非常食</li> </ul> <p>○本時の学習目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自然災害に備えるための住空間の整え方を理解しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に調べた内容を班で発表するように促す。</li> <li>・机間巡視しながら、具体的な備えや対策を考えられるように助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【行動観察】</li> <li>【学習プリント】</li> <li>関心・意欲・態度</li> </ul>
追究する	17	<p>○どのような危険があるか、またその危険を回避するためにはどのような備えが必要か、付箋に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●散らかっているのを、カゴに入れて整える。</li> <li>●ライトを固定する。</li> <li>●上にあるものを下にしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の説明を行い、各班で危険箇所を探すことと、付箋の使い方を説明する。</li> <li>A 台所</li> <li>B 玄関・階段</li> <li>C 洋室(寝室)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【行動観察】</li> <li>【学習プリント】</li> <li>関心・意欲・態度</li> <li>■【写真】</li> <li>【付箋】</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●棚を移動させる。</li> <li>●タンスが開かないようにストッパーをつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家で実践している備えを踏まえて考えさせる。</li> <li>・机間指導しながら、書けていない生徒には考え方について助言する。</li> </ul>	工夫・創造
深める	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各班で考えた内容を発表する。</li> <li>・自分と異なる意見があったら、学習プリントに記入する。</li> <li>○災害の備えについて、自分でできることを考えプリントに記入する。具体的な考えを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真に貼った付箋を含めて、TVに映し説明ができるように準備する。</li> <li>・各班の発表を聞き、自分の家にはなかった工夫をプリントに記入するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【発表】</li> <li>【聞く姿勢】</li> <li>知識・理解</li> </ul>
まとめる	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のまとめをする。</li> <li>・学習プリントに、今後の生活に生かせることを記入し発表する。</li> <li>○「災害への備え」について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家具の配置の見直し</li> <li>・家具の地震対策</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な住まい方について、まだ家できることを実践できるように促す。</li> <li>・家具の安全対策グッズの映像を提示することで、簡単に災害への備えができることを知らせる。</li> </ul>	【学習プリント】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>自然災害に備えるための住空間の整え方が理解できたか。</p> </div>				

(5) 評価

- ・自宅で行った『我が家の災害の備え』を基に、安全な住まいについて関心をもつことができたか。【関心・意欲・態度】
- ・日常の写真から危険な箇所を見つけ、必要な備えの工夫することができたか。【工夫し創造する能力】
- ・自然災害に備えるための住空間の整え方を理解できたか。 【知識・理解】